

世代をつなぐ施設へ

岡崎市民会館は市制施行50周年を記念して建設されました。折しも今年は市制施行100周年。建設当時は最新設備を完備したモダンなホールも半世紀が過ぎ、私が市長に就任した時には、移転による新文化会館の建設計画が進められていました。確かに、施設は老朽化し、旧式の音響や照明設備は時代

市長室より

Next!
岡崎
次の新しい おかざき



岡崎市長
内田 康宏

の変化に対応できなくなっていました。しかし、建物の躯体くたいや基礎はしっかりしており、耐震性も十分あることが判明したため、多方面からの検討の結果、これを改修し再生することにしました。これまで私たちは古くなった建物を壊して新しいものを造ることこそ正しいという思い込みの中で政策を進めることが多かったと思います。しかし、行政の仕事では、文化や伝統の継承も大切なことです。世代を超えて親しまれてきた施設などは、数々の思い出と共に大切に、後世に残していきたいと考えています。

リニューアルした市民会館は、高齢者や障がいのあるかたにも配慮し、舞台、客席、設備など充実したものとなっています。文化芸術の拠点として、多くの皆さんに親しんでいただきたいと思います。